

2026 年 5 月 8 日

各 位

慶應義塾大学大学院メディアデザイン科教授 岸博幸氏が当社顧問アドバイザー就任！
～グローバル戦略の推進と Web3 事業部における官民連携による企業価値の向上のため～

当社は、株式会社オフィス岸と顧問契約を締結し、慶應義塾大学大学院メディアデザイン科教授として政策・産業・国際情勢に精通する岸博幸氏（以下、「岸氏」といいます。）を顧問アドバイザーとして迎えたことをお知らせいたします。

岸氏は、長年にわたり日本経済・政策・産業構造に関する分析・提言を行い、政府・民間双方において豊富な知見とネットワークを有しております。

当社は、同氏の知見を活用し、事業戦略および対外連携のさらなる強化を図ってまいります。



《岸博幸（きし ひろゆき）》

岸氏は、1986 年 通商産業省（現 経済産業省）に入省し、その後、経済産業政策の立案や構造改革に関与されています。

総務大臣秘書官、内閣官房参与等を歴任し、政策立案の中枢に携わってこられました。

その後、民間および研究・教育分野において活動し、現在は慶應義塾大学大学院メディアデザイン科教授としてテレビ・講演・執筆等を通じて、日本経済および国際情勢に関する発信を行っています。

1. 顧問アドバイザーへの就任

今回、当社のグローバル事業展開の加速、Web3.0 戦略の推進、そして官民連携によるビジネスの構築という経営方針にもご賛同いただき、岸氏を当社の顧問アドバイザーとして就任していただくこととなりました。

■ 主な特任業務として

(1) グローバル戦略の推進支援

慶應義塾大学大学院メディアデザイン科教授としてのキャリアを活かし、国際情勢およびマクロ経済の視点から当社のグローバル戦略の立案・推進を支援いただきます。

(2) Web3 事業部における官民連携の強化

官公庁および関連機関との連携を強化するためのアドバイザリー業務を通じて、当社のWeb3 事業部における事業基盤の拡張および政策連動型プロジェクトの推進を支援いただきます。

(3) データセンター事業における提携先開拓支援

当社が注力するデータセンター事業において、有意義なパートナー企業や関連事業者との提携機会の創出を支援いただきます。



<岸博幸氏 コメント>

「生成 AI の進展により、データセンターは単なる設備投資ではなく、国家の競争力そのものを左右する戦略インフラとなっています。特に日本においては、電力、規制、国際連携といった複合的な課題への対応が不可欠です。

abc 株式会社の取り組みは、こうした課題に対して民間主導で挑戦する意義あるプロジェクトであり、私自身もこれまでの知見を活かし、その実現と発展に貢献してまいります。」



<当社 松田元代表取締役 コメント>

「この度、岸先生とご縁を頂き、データセンター、Web3.0 戦略の事業拡張のご相談を申し上げたところ、心良く、顧問業をお引き受けいただき、大変ありがたく感じております。

岸先生は行政の豊富な実務経験、立法、そして学術と大変な見識をお持ちであるのみならず、格闘技のご趣味も合い、お会いした瞬間から必ずお仕事を一緒にしたいと切望しておりました。岸先生の素晴らしいお人柄と知見から多面的に学ばせていただき、多様性を通貨にするミッションを元に、当社グループの企業価値向上に繋げられるよう身を引き締めて事業を邁進してまいります。」

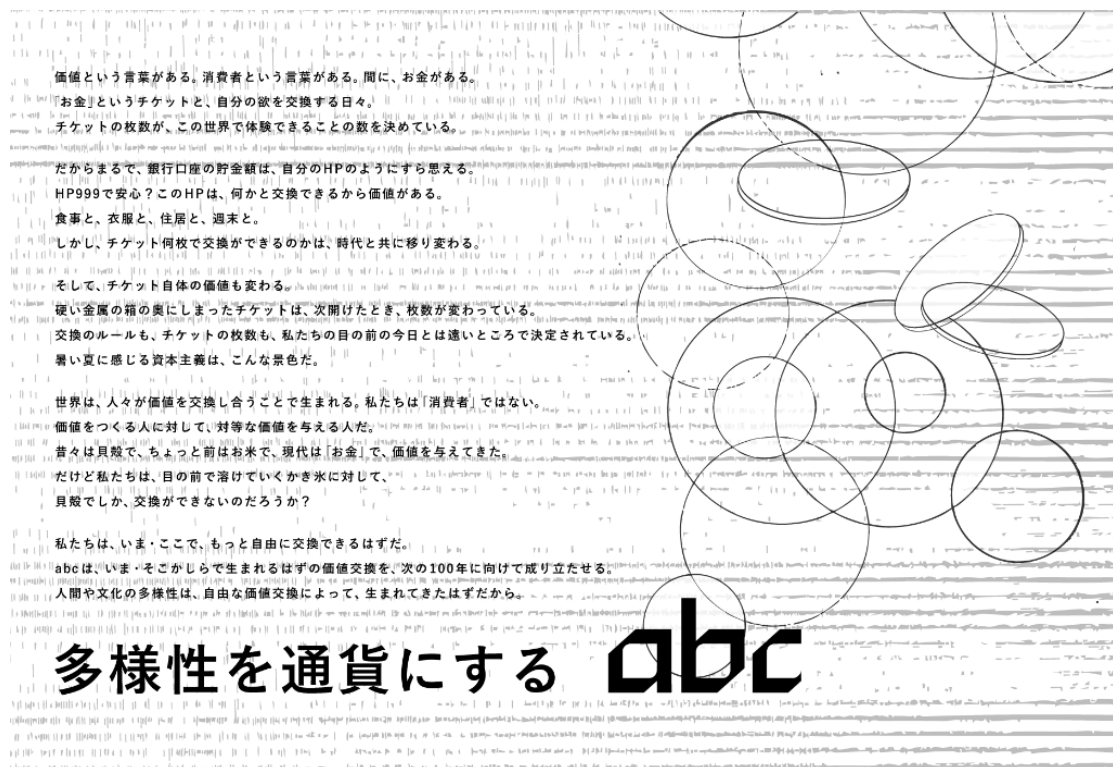
2. 今後の見通し

当社は、岸氏の参画を契機に、国内外の環境変化に柔軟に対応しながら、持続的な成長と企業価値の向上を目指してまいります。

特に、データセンター事業を中心とした次世代インフラ領域において、官民連携および国際的な視点を取り入れた事業展開を加速してまいります。

また、当社が現在、推進する AI 特化型高性能データセンター事業（2026 年 4 月 24 日付「[AI 特化型高性能データセンターの開発および運営に向けた基本合意書（MOU）締結](#)」にて公表）における事業推進の実効性向上を目的とするものであり事業推進体制の強化の一環としても位置付けております。

引き続き、当社グループは企業価値の最大化と持続的な成長の実現に取り組んでまいります。今後とも、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



価値という言葉がある。消費者という言葉がある。間に、お金がある。
「お金」というチケットと、自分の欲を交換する日々。
チケットの枚数が、この世界で体験できることの数を決めている。
だからまるで、銀行口座の貯金額は、自分のHPのようにすら思える。
HP999で安心？このHPは、何かと交換できるから価値がある。
食事と、衣服と、住居と、週末と。
しかし、チケット何枚で交換ができるのかは、時代と共に移り変わる。
そして、チケット自体の価値も変わる。
硬い金属の箱の奥にしまったチケットは、次開けたとき、枚数が変わっている。
交換のルールも、チケットの枚数も、私たちの目の目の前とは違うところで決定されている。
暑い夏に感じる資本主義は、こんな景色だ。
世界は、人々が価値を交換し合うことで生まれる。私たちは「消費者」ではない。
価値をつくる人に対して、対等な価値を与える人だ。
昔々は貝殻で、ちよっと前はお米で、現代は「お金」で、価値を与えてきた。
だけど私たちは、目の前で溶けていくかき氷に対して、
貝殻でしか、交換ができないのだろうか？
私たちは、いま、ここで、もっと自由に交換できるはずだ。
abcは、いま、そこかしらで生まれるはずの価値交換を、次の100年に向けて成り立たせる。
人間や文化の多様性は、自由な価値交換によって、生まれてきたはずだから

多様性を通貨にする abc

■ abc 株式会社について <https://abc-chain.com/>

abc は「多様性を通貨にする」を掲げます。私たちのアイデンティティであり、北極星であるこの言葉は、未来社会への約束です。私たちはこの言葉を、経営、事業、クリエイティ

ブの判断軸とすることで、Web3 技術を核とした通貨の専門集団として、従来の金融システムの枠組みに捉われない「善いことをした人が得をする世界」を目指します。

abc のグループ企業ネットワークにも「Tokenizing by abc」をブランド表記として加え、各事業と一体で示すことで、統一的なブランドマネジメントを通じて、グループ全体として多様性を通貨にし、新しい価値交換システムを提供していきます。

所在地：東京都港区赤坂四丁目 9 番 17 号 赤坂第一ビル 11 階

代表者：代表取締役 松田 元

事業内容：企業・ファンド等への投資、投資先支援、不動産関連事業、暗号資産関連事業

《本件に関するお問い合わせ先》

abc 株式会社 経営企画部

pr@abc-chain.com

以上